

平成27年9月定例会会議録（第3号）

平成27年9月7日 月曜日 午前10時00分開議
渋谷 佐輔 議長 五十嵐 智洋 副議長

出席議員（16名）

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
9番	梅津 善之	議員	10番	赤間 泰広	議員
11番	小関 秀一	議員	12番	五十嵐 智洋	議員
13番	蒲生 光男	議員	14番	安部 隆	議員
15番	町田 義昭	議員	16番	渋谷 佐輔	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷 重治	市長	遠藤 健司	副市長
鈴木 一則	総務参事	松木 幸嗣	厚生参事
竹田 利弘	総合政策課長	齋藤 環樹	総務課長
渡邊 洋男	財政課長	谷澤 秀一	地域づくり推進課長
高石 潤一	税務課長	鈴木 広弥	市民課長
伊藤 亮一	健康課長	佐藤 隆	福祉あんしん課長
松木 満	子育て推進課長	堀越 俊一郎	監査委員
加藤 弘二	教育委員長	加藤 芳秀	教育長
遠藤 誠一	選挙管理委員会委員長	鈴木 榮一	農業委員会会長
孫田 邦彦	産業参事	横山 賢一	建設参事
遠藤 敏広	農林課長	川村 直人	商工観光課長
青木 邦博	建設課長	種村 正一	上下水道課長
渋谷 憲治	会計管理者兼会計課長	遠藤 敏男	教育総務課長
鈴木 博郎	学校教育課長	齋藤 理喜夫	文化生涯学習課長
佐野 安広	生涯スポーツ課長	鈴木 良弘	選挙管理委員会事務局長

高橋 洋一 監査委員事務局長
渋谷 正通 消防主幹

寒河江 新一 農業委員会事務局長

事務局職員出席者

飯澤 常雄 議会事務局長
若月 由紀 庶務主査兼庶務係長
安達 洋司 主任技士
小林 克人 補佐
鈴木 和夫 議事調査係長

議事日程（第3号）

平成27年9月7日 月曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 8番 今泉春江 議員
 - 12番 五十嵐智洋 議員
 - 11番 小関秀一 議員
 - 7番 渡部秀樹 議員
 - 14番 安部隆 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、五十嵐智洋議員から資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を4日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

今泉春江議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位6番、議席番号8番、今泉春江議員。

(8番今泉春江議員登壇)

○**8番 今泉春江議員** おはようございます。

日本共産党の今泉春江でございます。内谷市長に4つの質問をします。簡潔明快にお答えください。

まず第1は、私たちが戦争法案と称している安倍内閣の安保法案についてであります。

私はこの件について6月議会でも取り上げま

したが、その後の状況は大きく変化しました。つまり、この法案が憲法に違反することがいよいよ鮮明になり、日本と国民の命と暮らしが取り返しのつかない危険にさらされ、民主主義をも破壊するものであることがはっきりしてきたこと、この中で国民の反対世論と運動が空前の規模に広がってきたことであります。

安倍内閣は、この法案を国民の命と平和な暮らしを守るためだと言いつつ続けています。しかし、自衛隊がアメリカのやる戦争に戦闘地域にまで出かけ、武器弾薬や食料を運び、攻撃されれば打ち返して戦闘を行い、しかも法的には人道に反するナパーム弾や毒ガス、核兵器の輸送まで行うことが明らかになりました。

また、戦乱が続く地域で自衛隊が武器を使って治安維持に当たり、集団的自衛権を発動し、アメリカや親しい国と一緒に戦争に参加します。この場合、攻撃した相手国からは日本が先制攻撃を仕掛けたと報復攻撃の対象になり、日本本土も含め危険にさらされ、テロの危険も格段に高まることとなります。

さらに、日本の存立が侵されるから集団的自衛権の発動が必要と言ってきたホルムズ海峡の機雷封鎖、救出する日本人が乗っているアメリカ艦船への攻撃などの事例が根拠を失いました。そして、国会には秘密で自衛隊が戦争法案の可決を先取りし、アメリカの指揮下で中東やアフリカなどで戦争を行う実施計画を立て、暴走していたことも明らかにされました。ここから見えてくるのは、この法案が日本を守るためではなく、アメリカと一体となり日本が歯どめのない戦争に乗り出すということです。これが戦争を禁止した憲法違反でなくて何でしょうか。これが国民の命と平和な暮らしを守ることになるのでしょうか。

しかも、戦争になれば若者が戦場で殺し殺され、血を流すことだけではありません。戦争が最優先となり、軍事費のための増税や社会保